

## 令和5年度第2回浜田市総合教育会議（意見交換）

日 時 令和5年7月10日（月） 11時25分から12時30分まで（予定）

場 所 第四中学校

構成員 久保田市長 砂川副市長

岡田教育長 杉野本委員 花田委員 岡山委員 倉本委員

事務局 草刈教育部長 藤井教育総務課長 山口学校教育課長

鳥居学力向上推進室長

学校関係者（美川小学校）川神校長、山根教諭

### 1 市長あいさつ

### 2 協議事項

#### (1) 教育行政に係る意見交換

ア ICT機器を活用した教育について……………資料1

### 3 その他

## 第4学年 国語科学習指導案

日 時 令和5年7月10日(月)3校時  
10時30分～11時15分  
指導者 山根 佑太  
場 所 4年生教室

## 1 本時の学習

## (1) 目標

見出しを付ける時のポイントを生かし、記事の内容が読み手に伝わる見出しを付けることができる。

[思考力, 判断力, 表現力等] B (1) ア

## (2) 本時における ICT 活用の目的

Forms のアンケート機能を活用して、見出しをつける際のポイントを整理するとともに今日の学習への見通しをもつことができるようにする。

パワーポイントと Teams を活用してインターネット上で同時に作業したり、加筆修正を行ったりすることで児童が思考・活動する時間を多く確保する。

## (3) 展開

時間	教師の発問 (○) と予想される児童の反応 (・)	教師の支援 (●) と評価 (☆)
10	1 前時に作成した「練習の記事」の見出しを紹介し、どれが一番読み手の興味を引き付け、記事の内容が伝わる見出しかを選挙で決める。【ICT: Forms】 ・①の見出しが一番いいな。 ・②の見出しは、短いから分かりやすい。 ・③は記事の話題が入っているからいいと思う。	●前時に作成した「練習の記事」の見出しの中で、どれが一番読み手の興味を引き付け、記事の内容が伝わるのかを投票形式で検討させることで、見出しを付けるという学習への意欲を高める。
5	2 見出しのポイントを整理する。 ポイント①…短い言葉で ポイント②…話題を入れて ポイント③…自分の考えや思いを入れて	●見出しがあると記事の内容がつかみやすく、読み手を引き付ける効果があることを確認し、今日の活動への見通しをもたせる。
2	3 本時のめあてを確認する。 見出しをつける時のポイントを生かし、ペアの友だちと協力して見出しを付けよう。	●前時までに書いた『デジタル学級新聞』の記事に見出しを付けることを確認する。
25	4 記事に見出しを付ける。 ○ペアの友だちと協力して、『デジタル学級新聞』の記事に見出しを付けましょう。【ICT: MicrosoftPowerPoint・Teams・E-share】	●見出しを考えにくい児童やペアには、記事の内容を一緒に確認したり、記事のキーワードとなる言葉を一緒に考えたりする。

3	<p>5 本時の振り返りと次時の予告をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見出しの付け方が分かって良かった。</li> <li>・読んでみたいと思う見出しがたくさんあったから、早く記事を読みたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●児童が見出しのポイントを意識し、対話して考えを深められるよう、対話場面を設けてから入力するように声をかける。</li> <li>●E-share を活用して画面共有を行うことで、様々なペアの進捗状況ややり方を確認できるようにし、見出しを考えにくいペアへの支援とする。</li> </ul> <p>☆見出しを付ける時のポイントを生かし、記事の内容が読み手に伝わる見出しを付けることができている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●本時の頑張りを褒め、次時へ意欲がもてるようにする。</li> </ul>
---	---	---

(3) 本時の評価

十分満足できると判断される児童の具体例	おおむね満足できると判断される児童の具体例	支援を必要とする児童への指導の手立て
見出しを付ける時のポイントを全て使い、読み手の興味を引き付け、記事の内容が伝わる見出しを付けている。	見出しを付ける時のポイントを生かし、記事の内容が読み手に伝わる見出しを付けている。	見出しが考えにくい児童には、記事の内容を一緒に確認したり、記事のキーワードとなる言葉を一緒に考えたりすることで、見出しを付けることができるようにする。